

# 土木図書館だより

## 土木図書館運営委員会

土木学会の創立 50 周年記念事業の一つとして、昭和 39 年 11 月 24 日に設立された土木図書館は、昭和 40 年 1 月 6 日に閲覧業務を開始して以来、早くも 1 年半余を経過いたしました。この間各位のご支援のお蔭で、どうやら土木図書館運営の基礎が確立したと申せるほどになりましたことは、私どもの喜びとするところです。土木図書館運営委員会は、土木学会誌 49 巻 10 号（昭和 39 年 10 月号）に委員会報告として、土木図書館の整備計画について、ひきつづき、会誌 51 巻 3 号（昭和 41 年 3 月号）には、土木図書館利用の手びきと図書整備現況についてくわしく報告し、会員の皆様に土木図書館のご利用方をお呼びかけいたしました。土木図書館の整備計画なり利用法について詳細にお知りになりたい方には、これらの報告をお読みいただくか、学会の係員におたずねいただくこととして、ここではその後の委員会の活動と図書館の整備状況について報告いたします。

土木図書館の利用者数は、開館以来少しずつ伸びており、この 1 月からの利用者数は月平均 135 人程度となっております。ときには定員 14 名の座席に対し 20 名以上の方がお見えになったこともありました。なららして、土木図書館はまだ十分に広く活用されているとはいえないように思います。定員の座席数以上の方にお越しいただいてもご迷惑をおかけしないよう、予備の部屋を用意してありますので、多数の方々のご来館をお待ちいたしております。

土木図書館を直接ご利用いただけない遠方の会員の方々には、学会指定の業者に委託して文献複写の便宜をおはかりいたしております。文献複写についての 1 月以来の実績を記しますと、月平均で約 668 ページ、46 件となっております。私どもは、もう少し多くの方にご活用いただけるよう期待いたしております。あるいは宣伝が足りないのではないかと反省いたしている次第です。

内外の単行本、雑誌類、国際会議の論文集などは、その後着々と整備を続けており、昭和 41 年 6 月現在で、和書 3 069 冊、洋書 993 冊、国内雑誌 274 点（1 436 冊）外国雑誌 149 点（967 冊）と国際会議論文集 221 冊の整備を終りました。特に、国際会議論文集につきましては、土木図書館を特色あるものにするため既刊の重要な国際会議論文集の収集には特に力を入れております。しかし、収集達成率はやっと 75% に達したにすぎません。国際会議には個人で参加され、論文集を個人の蔵書とされるのが普通ですので、古い国際会議論文集などは、大きな公共図書館にもしばしば欠けていることは、文献調査委員会の調査（48 巻 9 号、昭和 38 年 9 月号）によっても知られます。国際会議論文集の整備状況

は、会誌 51 巻 3 号の委員会報告に述べてありますように、入手不可能としていくつかの論文集が書き出されてあります。私どもとしましては十分に調査した積りではあります。現状では入手し難く、残念至極に思っている次第です。誠に勝手なお願いではありますが、これらの論文集の調査および入手方について、会員の方々のご協力を賜わることができればこれにすぎる喜びはありません。

図書、雑誌のほか、大学、官公庁、各種企業者の非公開の資料、報告書、計画書、工事誌、設計資料など、個人では入手や閲覧の困難な土木工学に関する貴重な資料類をもあわせて収集整理し、一般の閲覧に供することを意図しております。実は、これこそが土木図書館の土木図書館たるゆえんのものであると、私どもは考えております。これらの資料類の整備は今年度以降の作業として残されておりますので、いずれ会員の方々のご協力方をお願いしたいと思います。なお、利用される方々の便宜のため以上の和洋単行本、和洋雑誌、国際会議論文集、そう書、資料などの、土木図書館に所蔵するいっさいの図書に関する総目録を作成するため、只今作業を急いでおり、近いうちに目録集として刊行する予定であります。

前記の委員会報告においてすでにふれてありますように、土木図書館では、建設工事の記録映画や土木工学に関する教育映画のフィルムの収集を行っております。すでに創立 50 周年国土開発映画コンクールの入選作をふくむ 10 本のカラーフィルムを所蔵している（会告参照）ほか、都立小石川工高「建設技術フィルム ライブラリー」および都立田無工高「工業技術フィルム ライブラリー」の協賛により、それらの所蔵フィルムを土木図書館フィルム ライブラリーの所蔵リストに加えることので了解が成立しております。会員の方々のお申し出により、土木図書館フィルム ライブラリー 貸出規定にしたがって、これらのフィルムを貸出しいたします。フィルムの貸出しをご希望の方は、所定の申込み用紙を提出し、図書館長の承認を得て、貸出しを受けることができます。

1 回のフィルム貸出し本数は原則として 3 種類以内となっております。遠隔地の会員の方には、郵送による貸出しを行っておりますので、どなたでも、フィルム ライブラリーをご利用願えるようになっております。なお、フィルムの貸出しには、フィルム保存のため、少額の維持費を申し受けることになっております。貸出し業務はすでに行なっておりますので、フィルム ライブラリーに関する詳細につきましては係までお問い合わせ下さい。会員の皆様のご利用をお待ちいたしております。

昭和 39 年 2 月に発足した土木図書館運営委員会は、この 6 月をもって約半数の委員が交代することになりました。新しい委員の清新な意見をいれて、土木図書館をいっそう充実したものにしたたいと念願しております。土木図書館の整備計画や運営につきまして、ご意見がありましたら委員なり学会の係員にお申し出いただくようお願いいたします。

【幹事 駒田敬一】